

日々の授業改善を大切にしていきましょう！

東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課長 伊東 哲

新しい1年が始まりました。今年度から中学校においても新学習指導要領が全面実施され、各学校での授業においては、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらの活用を図る学習活動の充実がより一層求められることとなります。東京都教育委員会では、今年も「スクラム」などを通して、各小・中学校に有用な情報を提供し、授業改善を支援してまいります。

言うまでもなく、児童・生徒や保護者の方々の願いは、子供たちが確かな学力を身に付け、自己の能力に応じて、主体的に適切な進路を選択できるようになることです。こうしたことから、各教員には、児童・生徒一人一人の学力の状況を的確に把握し、それぞれの教科等において、「どの部分につまずきがあるのか」、そして、「そのつまずきを解消するためにはどのような指導を行えばよいか」を常に意識した教育活動を行うことが求められます。

そのためには、日常の授業を行う中で、計画(P)・実践(D)・評価(C)・改善(A)のいわゆるPDCAサイクルを取り入れることが重要です。年間ごとや学期ごとの見直しだけではなく、毎日の授業や単元ごとの細かな部分のPDCAサイクルを通して、自己の教育実践や指導方法を見直すことが大切です。

自分の授業を昨日よりも今日、そして今日よりも明日へと、常に高めていこうとする向上心を持ち、授業改善を行っていきましょう。

「メール・マガジン Scrum ースクラムー」 とは…

「Scrum」は、東京都教育委員会が、平成23年度から学校や先生方の授業改善を支援するために発行している情報紙(メール・マガジン)です。本年度も、児童・生徒の「確かな学力」の定着と伸長に関する先進情報や東京都教育委員会の取組などを、月1回、毎月25日に発行していく予定です。ぜひ御覧ください。

また、「Scrum」は小・中学校の先生方や区市町村教育委員会の方々との双方向の情報交換を目指しています。御意見や御感想、疑問点など、積極的にお寄せください。

メール・マガジン「Scrum」

「Scrum」では、このような情報を発信していきます。

学力調査結果の
効果的な活用の
在り方について

都の学力調査の
分析結果及び授業
改善のポイント

「習熟度別少人数指導」
における効果的な
指導方法等について

各種研究協議会・発表会・都学力
調査に関する説明会等の案内

各教科等における
学習評価のポイント

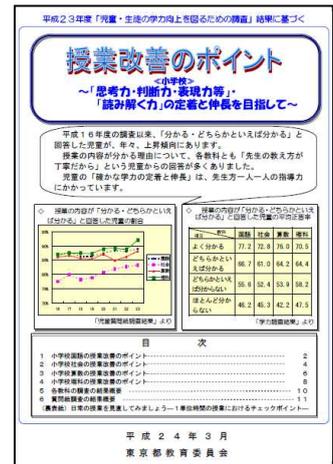
東京都教育委員会の
研究推進校等による
研究成果

リーフレット「授業改善のポイント」を全ての先生方へ配布します！

平成23年7月5日（火）に実施した「平成23年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析結果に基づいて、都教育委員会が作成した『授業改善のポイント』を、5月初旬に、都内公立小・中学校及び中等教育学校の全ての先生方へ配布する予定です（リーフレットの色は、小学校は青色、中学校は橙色です。なお、右の表紙は見本です）。

このリーフレットには、国語、社会、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)の教科ごとに、調査結果に基づいた授業改善のポイントや「読み解く力」を育むための指導について、具体的な例を挙げて掲載しています。また、児童・生徒質問紙調査や学校質問紙調査の結果の一部や授業を見直すためのチェックポイントも掲載しています。

授業の振り返りや授業改善への資料として、ぜひ御活用ください。



平成24年度 全国学力・学習状況調査が実施されました！

平成24年4月17日（火）に、「平成24年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。本年度から、小学校・中学校ともに、調査対象教科に「理科」が加わりました。

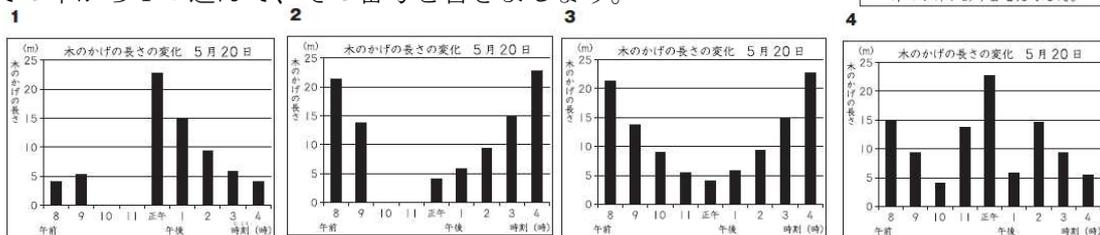
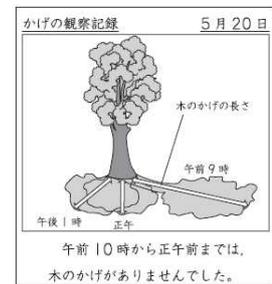
本号では速報として、小学校理科の調査問題から、大問4(3)～(5)を紹介します。

● 問題（領域 B区分「地球」）

4 三郎さんは、5月20日の1日の太陽の位置と木のかげの動きや長さを調べました。下の3枚の図はその時のようすです。



(3) 三郎さんは、右のように観察記録をまとめました。この日の木のかげの長さの変化をまとめたグラフはどれですか。下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



・ 出題の趣旨 「かげの観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表すグラフを分析できる。

・ 正答 2

・ 解説 木の影の長さの変化と太陽の動きの関係について観察記録などから分析して考察することが必要です。「かげの観察記録」から、木の影の長さは午前9時が一番長く、次に午後1時、そして正午が一番短くなっています。これに、「午前10時から正午前までは、木のかげがありませんでした。」という記述をあわせると、「2」を選択することが適切です。

指導に当たっては、観察記録をグラフにまとめさせ、観察記録とグラフを比較・関連付けて「どのようなことが読み取れるのか」「そのことから何が言えるのか」を考えさせ、意見を発表させるなどの活動を取り入れると、より効果的な学習になります。

(4) 三郎さんは、同じ日の午前 11 時の空のようすを、写真にとりました。午前 10 時から正午前までは、木のかげがなかったことから考えると、三郎さんがとった写真はどれですか。下の **1** から **4** までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 細かい雲が見られた。
- 2 線のようなうすい雲が見られた。
- 3 灰色がかった厚い雲が見られた。
- 4 綿のような雲が見られた。

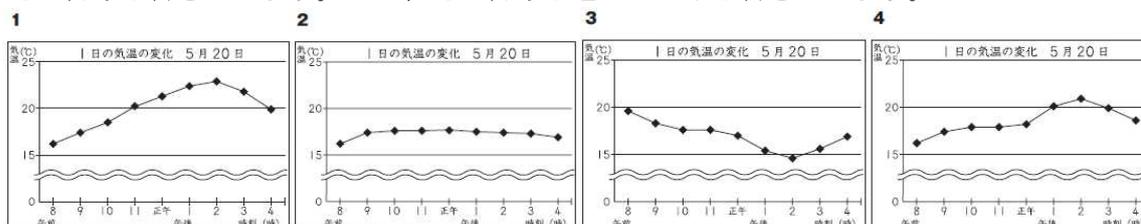
・ **出題の趣旨** 日陰の様子と雲の様子とを関連付けて、木の影がなかった時間の空の様子を分析できる。

・ **正答** **3**

・ **解説** 木の影の様子と雲の様子を関連付けて、その状況を分析して考察する必要があります。「午前 10 時から正午前までは木のかげがなかった」ことから、午前 11 時の空の様子は太陽の光が遮られるほどの厚い雲であったことが推測できます。雲の様子が **1**、**2**、**4** の場合は影ができる可能性があることもあわせ、この日の午前 11 時の空の様子の写真としては、「**3**」を選択することが適切です。

指導に当たっては、観察記録をグラフにまとめさせるだけでなく、グラフなどから観察した当時の様子を想起させ、その理由を説明させるなどの場面を設定することが大切です。

(5) 三郎さんは、同じ日に気温をはかりました。この日のかげのようすから 1 日の天気を考えると、気温の変化を表したグラフはどれですか。下の **1** から **4** までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。



・ **出題の趣旨** 天気の様子と気温の変化の関係についてデータをもとに分析して、その理由を記述できる。

・ **正答例** (番号) **4**

(わけ) 晴れていたので気温は午前中は上がっていき午後は下がっていくが、くもっていた午前 10 時から正午前までの間は気温はあまり変わらないから。

・ **解説** 設問(3)の「かげの観察記録」をもとに天気の様子を推測し、それを気温の変化を表しているグラフと関連付けて分析・考察することが必要です。午前 10 時から正午前までは木の影がなかったことからこの間の天気は曇りであり、それ以外の時間は木の影があったことから天気は晴れであったと推測できます。通常の晴れの場合の日中の気温の変化も踏まえ、この日の気温の変化を表したグラフとして、「**4**」を選択することが適切です。また、本問では、選択した解答の理由について記述することが求められています。天気の様子と気温の変化を示すデータから分析して考察し、的確に記述することが必要です。

指導に当たっては、記録温度計のデータなどから天気の変化を読み取らせ、考察した内容をデータや資料を示しながら解説させる学習活動などを設定すると効果的です。

「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査」の正答例、調査問題及び解説資料は、国立教育政策研究所ホームページに掲載しています。(URL <http://www.nier.go.jp/12chousa/12chousa.html>)

★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを送信してください。なお、本メール・マガジンは、pdf ファイルにて提供いたしますので、携帯電話では読むことができない場合があります。